

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表:令和6年2月29日

事業所名:モジラ・アルク かごしま

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				基準を順守しています。
	2 職員の配置数は適切であるか	○				必要な基準に児童指導員を1人増やして配置を行っています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○				公社ビル内とのことで、エレベーターが設置されています。なお、身障者用のトイレが1か所のみです。
業務改善	4 業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○				日々のミーティングや定期的な会議の場で職員が意見を出し、業務改善に努めています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				評価表を活用し、業務改善に努めており今後も継続していきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				ホームページにて公開(予定)です。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		第三者による評価はおこなっていない。必要に応じ、業務改善への取り組みや見直しを行っていきます。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人内研修及び定期的なミーティングを開催。	外部研修に関しても、案内を行い参加を促しています。	
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメント内容に関しては、職員で共有している	アセスメントを定期的に行い、成長段階や特性を把握した上で子ども、保護者のニーズや課題に取り組めるよう計画を作成します。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				定期的なアセスメントを行い、職員が書式や視点について学ぶ機会を設けています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				職員の得意分野を生かし、活動計画を立案しているが、負担の偏りが無いよう工夫を行っています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				季節及び子どもの興味に応じた活動の設定を行っています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○				事前に活動計画を立てています。今後更に具体的な設定や工夫を行います。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				個別活動と集団活動を取り入れ、子どもの成長に繋がるよう計画を作成しています。
	15 支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				朝礼で、当日の活動についての確認や申し送りを行っています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○				記録を作成する過程で情報の共有を行います。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				客観的な記録を行い、支援の検証・改善につなげています。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				計画に関しては6か月に1回のモニタリングを順守しています。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○				子ども支援、保護者支援のガイドラインに基づいた支援を複数組み合わせで行っています。	
関係機関 や保護 者との	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				児童発達支援管理責任者が参画しているが、状況に応じて他の職員の参画を行っています。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校との情報共有は送迎時に図られている。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○				現在までに該当なしです。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				必要に応じて情報の共有を行います。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○				必要に応じて情報の共有を行います。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				必要に応じて連携し、助言や研修を支援に取り込みます。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
連携	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		今年度地区の児童クラブとの交流を行いました。	
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○		鹿児島市内は学識経験者が行っています。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎の際、その日の様子をお伝えしています。	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○				必要に応じて、随時対応を行います。
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				契約時に説明を行っています。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				必要に応じて、随時対応を行います。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		現在保護者会の設置はしていません。今後検討します。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			丁寧な対応を心がけてます。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月会報を発行しています。	
	35 個人情報に十分注意しているか	○				
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			双方の思いに寄り添いながら、配慮しています。	今後も丁寧な関わりを行います。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○			今後計画します。
	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○			マニュアルの周知徹底を今後丁寧に行います。
非常時等の対応	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			火災及び地震に関する避難を行いました。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			定期的に行っています。	今後も継続的に行います。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			契約時に説明を行っています。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			契約時にご家族に確認しています。	現在利用されている子どもには対象児はいません。必要に応じて対応致します。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○			ヒヤリハットでの報告、周知は行っているが、事例集までの作成には至っていない。今後も情報の共有に努めます。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)